



平成 29 年 11 月 14 日

各 位

東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
株式会社クロス・マーケティンググループ
代表取締役社長兼 CEO 五十嵐 幹
(コード番号：3675 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 小野塚 浩二
(TEL. 03-6859-2250)

特別損失(のれんの減損損失)の計上、

平成 29 年 12 月期通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 12 月期決算におきまして、のれんの減損処理を行い特別損失を計上するとともに、最近の業績動向などを踏まえ、平成 29 年 8 月 14 日に公表いたしました平成 29 年 12 月期通期(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)の業績予想及び平成 29 年 12 月期の期末配当予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上について

当社のリサーチ事業の連結子会社である Kadence India 社、Markelytics 社、MedePanel 社、Jupiter 社、Shoppers eye 社について、各社とも株式取得後より各種先行投資を行いながら売上高の増加を図っており、5 社合計の 17 年第 3 四半期累計の売上高は前年同期比 20.7%と成長を実現しておりますが、特に人員体制強化のための人件費・採用費や事業推進のための販促費の増加等により、当初想定した収益が見込めなくなったため、株式取得時に発生したのれんについて、のれん残高として計上していた金額全額 597 百万円を減損損失(特別損失)として平成 29 年 12 月期第 3 四半期累計期間において計上することといたしました。

2. 平成 29 年 12 月期通期連結業績予想の修正 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 (△:当期純損失)	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,350	1,151	1,071	251	12.84
今回修正予想 (B)	16,838	800	681	△594	—
事業上の増減	△512	△351	△390	△248	—
減損損失				△597	
増減額(B-A)	△512	△351	△390	△845	—
増減率(%)	△3.0%	△30.5%	△36.4%	—	—
(参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	15,969	1,342	1,267	837	42.85

(通期連結業績予想の修正の理由)

通期における売上高は、国内リサーチ事業においては、今期進めてきた働き方改革の中で、時間管理の徹底・生産性の向上を目指すとともに、人員採用等、販管費の投資を進めてまいりました。結果として、想定していた生産性の向上や売上高の増加を達成することが出来なかったため、主力である株式会社クロス・マーケティングについても想定していた売上高を下回る見込みになるとともに、他の事業会社において主要顧客の売上進捗の遅れの影響等もあり、前回発表予想を下回る見込みとなりました。海外リサーチ事業については、好調に推移している Kadence 社については予想を上回る売上進捗となっておりますが、リサーチ事業全体としては、前回発表予想を 466 百万円下回る見通しとなりました。

各利益については、売上高が前回発表予想を下回る見込みとなった国内リサーチ各社において進めていた人件費・採用費の増加の影響等もあり、営業利益以下、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

ITソリューション事業及びその他の事業については、概ね予定通りの売上高・利益となる見込みであります。

また、上記記載の通り、597百万円をのれんの減損損失(特別損失)として平成29年12月期第3四半期累計期間において計上したため、当期純利益(損失)が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

結果として、売上高は16,838百万円(前回発表予想比512百万円減)、営業利益800百万円(前回発表予想比351百万円減)、経常利益681百万円(前回発表予想比390百万円減)、当期純損失594百万円(前回発表予想比845百万円減)を見込んでおります。

3. 平成29年12月期期末配当予想の修正

(1)平成29年12月期 期末配当予想修正の理由

当社は、配当による株主への利益還元を安定的に継続しながら、現在の旺盛な資金需要、今後の事業投資計画等鑑み、「連結配当性向15%前後を目安に配当金額を決定する」としております。

当期の業績については、Kadence社の株式取得における追加支払いの発生による業績への影響、上記記載の減損損失の計上及び事業進捗による影響により、平成29年12月期の業績見通しは当初予想を下回る見込みとなりました。

平成29年12月期の期末配当につきましては、上記の「Kadence社の株式取得における追加支払いの発生による業績への影響、第3四半期決算における減損損失の計上」については、臨時かつ非現金支出費用であることを考慮した上で、事業進捗による業績予想の修正の影響について期末配当金の見直しを行いました。

結果として、配当方針の利益還元の安定的な継続という観点から通期での配当金額の合計を前期通期実績と同水準とすることとし、期末配当予想につきましては、1株当たり2円25銭(前回予想3円25銭)に修正いたします。

(2)修正の内容

基準日	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間合計
前回予想 (平成29年2月14日)	3円25銭	3円25銭	6円50銭
今回修正予想	—	2円25銭	5円50銭
当期実績	3円25銭	—	—
前期実績 (平成28年12月期)	2円50銭	3円00銭	5円50銭

※上記の予想は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、季節要因等を反映して作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上